群馬県がん患着団体連絡協議会

ニュースレター

2010年10月1日 第22号





~主な記事~

- ◇ がん連協 がん対策推進条例制定に向け、群馬県議会に要望書を提出しました
- かん征圧共同キャンペーンを実施しました
- ◇ がん患者ミーティング2010のお知らせ

☆がん連協がん対策推進条例に向け、 群馬県議会に要望書を提出しました☆

去る7月30日に群馬県議会の県内調査に伴うがん連協との意見交換会を経て、当協議会では群馬県がん対策推進条例制定に先がけ、群馬県議会に要望書を提出することになりました。

役員会と企画委員会で合同会議を持ち、その後は企画委員会が中心となり、案を練りま した。

そして、群馬県保健予防課、群馬県議会事務局の協力を得て、先日、平成22年10月29日 (金)午後3時から、群馬県議会庁舎、議長室において、関根くにお議長と面会、要望書を 提出することができました。

当協議会からは本田会長(あけぼの群馬)、一柳副会長(ひまわりの会)、土屋副会長(群馬ホスピスケア研究会)が参加され、和やかな雰囲気の中、無事に要望書を提出しました。関根議長は真摯に私たちの話を聞いて下さり、要望書は条例制定を協議する特別委員会に渡して下さるそうです。

今後もがん連協は行政と連携して様々な提言を行えるよう、活動を続けていきますので、 ご協力をお願いします。

要望書全文

平成22年10月29日

群馬県議会議長 関根 圀男 殿

群馬県がん患者団体連絡協議会 会長 本田 攝子

要望書 「群馬県がん対策推進条例」について

はじめに

近県に先駆け、議員からの発議による「(仮称)群馬県がん対策推進条例」の制定に向け、特別委員会が発足し活発な活動を開始されましたことに対し、心から感謝と敬意を申し上げます。

この条例が、群馬県のがん死亡率の減少と、すべてのがん患者と家族の苦痛軽減および生活の質向上に役立ち、多くの県民が「がんに強い群馬」「がんになっても希望を持って生活できる群馬」を実感できる内容となることを切に希望いたします。患者・家族・支援者などの立場から、下記の通り要望を提出させていただきます。

要望

- 1. 県内どこにいても安心して最良の医療が受けられる体制の整備。そのためにも、医療機関や医療従事者のネットワークの充実や、地域がん登録の推進を図ってください。
- 2. 気軽に立ち寄れる『がん相談支援センター』の整備。そこでは、分かりにくい医学用語や治療法の解説、困りごとや悩みごとの相談に対応し、役立つ学習資料も整備してください。
- 3. 一般県民やがん患者・家族に役立つがん対策Webページの開設。群馬県がん対策推進計画の紹介、 患者や家族に役立つ情報リンク集、講演会やイベントの紹介、患者会活動の紹介や群馬県のがん関連統 計などを紹介する県公式Webページを整備してください。
- 4. 患者・家族同士の仲間づくりや情報交換に役立つ「患者会」や「患者サロン」活動の支援と推進。活動場所の確保や専門知識の提供、活動資金の助成など、「患者会」や「患者サロン」の活動を応援してください。
- 5. 早期発見・治療に役立つがん検診の推進。早期発見で治癒が期待できるがんについては、がん検診受診率50%を実現できるよう行政はイニシアチブを発揮してください。
- 6. 若者が新たにタバコを吸い始めない環境の整備。職場や学校、大学では若者の喫煙防止と喫煙者の禁煙の支援に特段の努力を注いでください。
- 7.「がんに強い群馬」をめざした積極的ながん予防対策の推進。がん予防教育を中学生から開始するなどの先駆的な取り組みや、国や市町村と連携し子宮頸がん予防ワクチンの公費負担を検討し、予防可能ながんをしっかり予防できる県民を育ててください。
- 8. がんと闘う子どもや親、小児がん経験者の交流支援。大人のがん患者だけでなく、がんと闘う子どもや親、小児がん経験者の交流や支え合いの活動を応援してください。
- 9. 病気が進んでも安心して日常生活を続けられる環境作り。在宅ケアが必要になった時には、開業医、訪問看護師、ホームヘルパーのみなさんなどから、安心して必要な援助が受けられるよう、地域のネットワークづくりを推進してください。
- 10. がん対策に対する県民意識の向上。多くの県民が、がんの予防や早期発見、がん医療に関心を持てるよう、広報活動やPRイベントなどを通じて情報を発信してください。
- 11. がん対策推進に向けた患者会の活用。がん対策推進に向けたアイデアや意見の提案、県民に向けた行政との共同メッセージの発信など、「がんに強い群馬」「がんになっても希望を持って生活できる群馬」をめざし、ぜひ患者会を活用してください。



♪がん征圧共同キャンペーンを実施しました♪

平成22年10月30日(土) グリーンドーム前橋において、上毛新聞社主催の「1000人7ラ」が開催され、3回目となる、群馬県がん患者団体連絡協議会 がん征圧共同キャンペーンを実施しました。この時期としては珍しく台風が近づき、朝から雨という悪天候の中でしたが、みのり感謝祭も同日開催となったこのイベントには、朝から多くの人たちが来場しました。

各会、ユニフォームやタスキ、エプロンなどおそろいの支度で、にぎやかに会場内へ!





朝からの雨にかかわらず、来場者がたくさん。

患者会の案内やがん関連の資料を配りながら、がん健診受診を呼びかけました。

群馬ホスピスケア研究会のみなさん。 群馬あかぎ互寮会の大島会長、また、ひまわりの会からも大勢参加していただきました。

ピンクリボン運動を推進する本イベントのため、ピンクリボンタイムというPR タイムがありました。

がん連協 本田会長のもと、健康づくり財団 即席PRチームが、乳がん自己触診法の歌と踊りを披露しました。(となりのトトロ さんぽの替え歌です)5分間、がんばりました。

また、ポピーの会の会員さんや、あけぼの群馬からもたくさん参加いただき、 チラシを配布したり、患者会ブースで乳がん触診モデルの説明をお願いし ました。







患者会ブースで乳がんモデルの説明をお願いしました。

笑みの会、あけぼの群馬の皆さん。ブース内では日本対がん協会発行の「マンモグラフィ健診無料クーポン券」の応募も受け付けました。

1.2の3で温泉に入る会の皆さん。

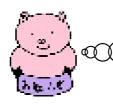
熱心に配布していただき、またブース内でも来場者に、自己検診を呼びかけてくれました。

お忙しい中、足下の悪い中、ありがとうございました。 (お買い物もできましたでしょうか?)





掲示板



行事の紹介です。 みなさんもお知らせを 寄せて下さい。

群馬県がん患者団体連絡協議会 主催行事

がん患者ミーティング2010

日 時: 平成22年11月27日(土) 午後13:00~15:30 (開場12:30) 場 所: 群馬県健康づくり財団 6階大会議室 (前橋市堀之下町16-1) 参加費: 無料 (申し込みは特に必要ありません どなたでも参加できます)

1. 開会あいさつ 群馬県がん患者団体連絡協議会 会長 本田攝子

2. アトラクション 群馬混声合唱団! (参加者全員合唱)「365歩のマーチ」

3. リレートーク「がんに強い社会をつくるーがん対策推進に向けた患者会の役割ー」

進行: 群馬県立県民健康科学大学 准教授 群馬がん看護研究会 狩野太郎

1) 温泉に行こう! みんなで入ればこわくない 1.2の3で温泉に入る会ぐんま

群馬あかぎ互療会

2)検診に行こう! 患者会によるキャンペーン活動 あけぼの群馬他

3)ドタバタ 井戸端 がんサロン ひまわりの会

4) 群馬県がん対策条例への願い

- 休憩 - (15分)

4. 交流茶話会

5. 閉会 閉会の歌 「見上げてごらん夜の星を」

役員、企画委員会で企画・立案し、がん連協みんなで創り上げる「患者ミーティング」です。 みなさんと一緒に楽しく交流したいと考えています。

【群馬県がん患者団体連絡協議会 事務局】

〒371-0005 前橋市堀之下町16-1 (財) 群馬県健康づくり財団 総務部 総務課

電話027-269-7811·FAX027-269-8928 E-mail fukyu@gunma-hf.jp



編集後記

友人に誘われ、高崎で開催されていた「ミュシャ展」に行きました。久々に生の絵画等を見て迫力あるなあと感じました。様々な企業のポスター制作していた時代のお菓子関係のものを食い入るように見つめてしまい、「ここまで来ても食欲の秋ね…」と少し反省しました。

編集担当:事務局 荒木美保